



# 協 児 民 あ て な

第 121 号

発行 四條畷市民生委員  
児童委員協議会

会長 山 崎 讓

編集 広 報 部 会

# 迎春

今年も地域の身近な相談相手として  
民生委員児童委員は  
あなたのおそばにいます。



寅の干支飾り



干支飾りの作成風景



民生委員が一人暮らし高齢者の方々へ送る年賀状のイラスト募集に、51名の小学生から応募があり、9作品が選ばれました。ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。



- ☆民生委員で何してる？
- ☆民生委員に興味ある！
- ☆民生委員をもっと知る。

## 第 121 号の内容

- 表紙 年賀状イラスト
- 2ページ 高齢者実態調査  
子育て相談会  
研修会
- 3ページ 地域活動
- 4ページ 永年・有功者  
表彰  
校区委員会設立

結びに四季折々の催事が行われ、明るい笑顔でお会い出来る日が、一日も早く訪れることを願ひ、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

昨年11月から市内全域で、在宅高齢者実態調査と市の高齢者緊急連絡カード配布事業を進めています。コロナ禍で社会はデジタル化が進んでいますが、私たち民生委員は、直接地域の方とお会いし、地域の見守り人としてお話を傾聴し、地域共生社会のさらなる充実をめざしていきます。

アフターコロナに向け多くの皆様の「心」や「からだ」にポツカリあいた空白をうめるべく、私たち民生委員が「全員」「全力」で地域の見守り支援を一層強化してまいります。

昨年11月から市内全域で、在宅高齢者実態調査と市の高齢者緊急連絡カード配布事業を進めています。コロナ禍で社会はデジタル化が進んでいますが、私たち民生委員は、直接地域の方とお会いし、地域の見守り人としてお話を傾聴し、地域共生社会のさらなる充実をめざしていきます。

市民の皆様におかれましては、健やかなお正月をお迎えになられたこと、心からお慶び申し上げます。昨年はすさまじい勢いで、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡がり、あたりまえの日常生活が失われてしまいました。

す。

新年あけましておめでとうございます。



会長 山崎 讓

年頭のあいさつ

四條畷市民生委員児童委員協議会

## 高 齢 者 実 態 調 査

昨年11月から3年に一度の在宅高齢者実態調査を行っています。民生委員が一齐に四條畷市内の高齢者世帯を個別訪問して緊急時の連絡先や健康状態などをお伺いし、調査結果は災害時の安否確認や日頃の見守り活動に活かされます。同時に四條畷市の緊急連絡カード配布事業にも協力して実施しています。

対象は概ね65歳以上の一人暮らしの方や70歳以上の高齢者世帯。表札やインターホンがないご家庭もあり、大声で名前を戸口でお呼びすることもあります。より一層寄り添った民生委員活動ができるよう奮闘しています。

調査対象の高齢者の方から優しいことばをかけていただくこともあり、地域のきめ細かなつなぎ役となれるよう調査終了まで頑張りたいと思っています。

中田恵子



## 子 育 て 相 談 会

10月27日(水)保健センターで初めての子育て相談会が開催されました。午前10時から6組、10時40分から6組の親子の参加がありました。山崎会長の挨拶、保健センター・子育て総合支援センターの方の紹介、地域の子育てサロンの紹介など続き、支援センターの方とのふれあい、保健センター職員による身体測定、相談会がありました。その後おもちゃで遊び、お母さんと子どもの笑顔が見られました。各地域での子育てサロンにも気軽に参加をお願いいたしました。

これを機会に今後も親子と民生委員との交流会を続けていければいいなと思っています。

児童福祉部会



## 中 堅 民 生 委 員 児 童 委 員 研 修 会

11月10日(水)午後1時30分からオンラインによる研修会を社会福祉協議会会議室で受講しました。内容は追手門学院大学准教授・葛西リサ氏による「コロナ禍におけるひとり親の居住貧困問題と支援のあり方について」でした。

母子家庭、父子家庭の比率、特に母子家庭の母親の負担が大きいこと、育児と仕事の両立が困難で忙しいこと、そのために責任ある仕事は選べず住宅も家賃の制限があり居住貧困も多く、子どもの生活環境、さまざまな問題で社会的に孤立している方が多く、7人に1人が子どもの貧困状態にあるそうです。いろいろ問題をかかえています母子世帯を支援して頂くとこはありますが、このような問題を民生委員はどのように対応すれば良いのか考えさせられました。

金子仁恵





### 北出地区

10月3日(日)「なでしこの会」のスタッフ・民生委員(8名)で、対象者へ消毒液入りハンドソープ(詰替用付)、各家庭を訪問して安否確認も兼ねて配布しました。

緊急事態宣言は配布3日前の9月30日に解除になったばかり、配布計画を立てた時は新型コロナ感染拡大の最中でしたので、我々スタッフは各家庭訪問時、感染防止対策の徹底を図り配布しました。受け取られる対象者の方々も(事前に配布日時案内配布)心得て頂いていてマスクを着用し、受け取ってくださいました。

訪問した際多くの皆さんは、病院へ行く時か、買い物以外は外出の機会がありませんでした。人と

### 中野新町地区

10月26日(火)高齢者サロン「わかば会」を再開し、いも掘り・パーベキューに行きました。畑は前日の雨のおかげでも掘りやすく、91才の参加者が一生懸命掘り「孫に自慢する」とおっしゃるその笑顔がステキでした。紅葉には少し早いものの屋外で食べるパーベキューに舌鼓をうち、よもやま話に花を咲かせ、コロナ禍でのストレスを発散し和気あいあいの楽しい一日でした。

これからも新型コロナウィルス感染症対策をして外に出る機会を増やし、皆さんの笑顔に出会える

会話することが久しぶりとばかりに話が弾み、ハンドソープを受け取り、マスクの向こうでの笑顔と会話が出来たことの喜びを我々スタッフに感じ取れたことが印象的でした。

中林善造



ように活動を続けて行きたいと思えます。

地区福祉委員 木寅晴美



## 再開した地域活動

### 清滝地区

#### 敬愛訪問

清滝地区では、年に2回の敬愛訪問を行っています。年末のおもちの配布、お誕生祝いをお届けする事です。現在114名登録されていて、前月に8名のスタッフが集まり準備をします。私は誕生日当日の午前中にささやかなプレゼントを持って訪問しています。玄関のチャイムを鳴らす…。扉が開き元気な顔で出迎えて下さるのが楽しみです。ここに



やかに日常の会話に花が咲き、明るい気持ちになり有意義な1日だったと満足に浸りながら帰ってきます。

地区福祉委員 今野好子

### 美田地区

#### 待ちに待った野外活動

新型コロナウィルスによる緊急事態宣言も解除され、11月22日(月)食事と、紅葉狩(散策)に行ってきました。予報では雨、はずれを期待するも大当りの雨でした。2年振りの野外活動とあって皆さん気合い充分、予定時間より早にお集り。

食事会場の「梅の花」では湯葉と豆腐の料理に舌鼓、合間のアクリル板越しでの会話ははずみ笑顔が見られて良かったです。食事の後、けいはんな記念公園へ移動「水景園」内を散策、雨が本降りの中、霧と雨に濡れた紅葉を堪能された様でした。皆さんの元気な姿を拝見しパワーを頂きました。

これからも精一杯お手伝いさせていただきます。ご参加の皆様おつかれ様でした。

松岡俊生



(写真撮影のためマスクをはずしています。)

# おめでとうございます

## 永年勤続民生委員・児童委員表彰

全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞されました。

- |              |              |                |
|--------------|--------------|----------------|
| 金子 仁恵 (畑 中)  | 中尾 眞澄 (清 滝)  | 鈴木 信之 (田原台)    |
| 中田 恵子 (川 崎)  | 高橋 たか子 (岡 山) | 森川 陽子 (さつきヶ丘)  |
| 土井 まさ子 (川 崎) | 問田 哲志 (岡 山)  | 旭 恵美里 (田原小学校区) |
| 松岡 俊生 (美 田)  | 山崎 讓 (岡 山)   |                |
- (敬称略・順不同)

## 四條畷市有功者表彰

四條畷市有功者として表彰されました。

- 八上 紀子 (蒔 屋)  
(敬称略)

## 四條畷市感謝状表彰

- 梨岡 由起 (畑 中)  
故 澤田 敬二 (緑 風台)  
(敬称略・順不同)

### 校区委員会が

### 設立されました

従来一部の小学校校区単位で民生委員と校長先生との情報交換会や交流会を行ってききましたが、この度全校区で校区委員会を立ち上げ、更に積極的に情報交換を図っていたことといたしました。地域の状況把握、課題の共有や調整を行い、民生委員の役割や任務のより円滑な遂行に役立つと考えます。

この設立に伴い、校区割地域の取りまとめ役として7名の校区リーダーも併せて選出されました。校区リーダーの方々にはなお一層のご協力とご活躍を期待申し上げます。

専門部会とはまた違った切り口での意見や情報を積極的に上げていただき、民児協活動をより活発にしていきたいと思っております。



山崎 讓

### 「トヨタ自動車株式会社 社員向けプログラム」への協力

11月4日(木)、社会福祉協議会において、トヨタ自動車株式会社社員向けプログラム「社会課題 Deep Diveプログラム」に協力しました。

これは、トヨタ自動車「社会課題の構造を理解しよう」で、会社の発展と社会課題への貢献の両立を目指すことを目的として実施されているプログラムです。社会課題に対して実践している人へのヒアリングや現場視察をすることで理解を深め新事業を立案していくそうです。

今回は「ウェルネス・ヘルスケア」というテーマで、地域福祉活動をしている民生委員として、四條畷市における高齢者の健康寿命延伸の取り組みや問題意識などの課題について、6名の社員の方から1時間ほどヒアリングを受けました。

行政との連携や、高齢者の孤立状況の実態、地域の支え合い、支援活動や助け合い、社会的孤立をしている住民への阻害要因は何か、また民生委員のなり手不足の原因についても質疑応答がありました。

若い世代の方たちに民生委員活動の一端を理解していただき、質問も多岐にわたり、企業として社会貢献事業に取り組んで進まれる姿勢を感じました。

小林 由美子

